

2016年度（平成28年度）

## 事業報告・収支決算書

一般財団法人備後地域地場産業振興センター

〒721-0974 広島県福山市東深津町三丁目2番13号

TEL084-924-4510・FAX084-924-4665

# 2016年度（平成28年度）事業報告

## I. 事業

### 1 福山市ものづくり交流館指定管理事業（福山市からの指定管理事業）

福山市ものづくり交流館は、ものづくりを通じて、ものづくり活動等の振興及び市民交流を促進することを目的に設置され、2014年（平成26年）7月より当センターが指定管理事業を受託し運営を行っている。

当交流館の管理にあたっては、市民・団体・企業等が、会議や事業活動の発表、展示会に利用できるコンベンション機能や創業支援のほか、多様な世代向けのものづくり講座等を通じて、ものづくりへの理解と情報発信を行う場としている。

また、福山地域のものづくり企業を支援するとともに、駅前の集客施設という立地条件を活かし、市民が交流しやすく、大学や企業とも連携しやすい施設、さらには、まちづくりに関する市民等の活動拠点として、活用されるよう努めている。

#### (1) ものづくり工房の利用

ものづくり工房には、工房・工作機械室や講義室があり、「企業等がものづくり体験を市民へ提供する場」「市民が自らものづくりを楽しむ場」として、無料で利用いただいた。

利用件数 263件 1,544人

#### (2) ものづくり企業支援事業

「じばさんフェア2016」併催行事として、(株)GKデザイン総研広島や備後デザインサロンの支援をいただき、デザインセミナーを開催した。

##### ア 福山市デザイン特別講義及びディスカッション

(ア) 開催日 2016年（平成28年）11月19日（土）

(イ) 場 所 スタジオA

(ウ) 内 容 ・演題 「デザインの進化と役割」

講師 日本大学大学院 非常勤講師 榮久庵 祥二

・地元コメンテーターを交えてのディスカッション

講師 日本大学大学院 非常勤講師 榮久庵 祥二

地元コメンテーター

福きた！元氣な町つくろう会 代表 久良 俊道

コーディネーター

(株)GKデザイン総研広島 代表取締役社長 弥中 敏和

(エ) 参加者 46人

##### イ 備後デザインサロントーク

(ア) 開催日 2016年（平成28年）11月20日（日）

(イ) 場 所 スタジオA

(ウ) 内 容 ・演題 「製造メーカーの立場から、モノ作りを取り巻く環境とデザインの関わりについて」

講師 (株)心石工芸 代表取締役社長 心石 拓男

・演題 「備後デザインサロンの活動報告」

講師 (有)コトブキ印刷 デザイナー 宗藤 利英

(エ) 参加者 30人

(3) ものづくり市民啓発事業

多くの市民に、ものづくりの楽しさを体験し学んでいただくために、募集したものづくり講師等による講座を開催した。

ア ものづくり市民講座

講座内容	講師	回数	延参加数
手芸講座	ウエスギ (株)	5	71
ポーセラーツ	浦邊加代子	4	34
紙すき体験	エコローズ企画	1	31
包丁研ぎ講座	//	4	40
布ぞうり	//	10	68
カラーウールクラフト	尾高洋子	1	6
布手芸講座	掛谷キクエ	13	121
パステルアート講座	片山織吏枝	3	25
備前焼講座	香山善弘	5	54
押し花講座	河合末子	5	43
籐手芸講座	桑田眞江	6	69
筆遊び講座	坂井朋美	6	69
組み木人形作り	木楽会	22	130
銘木木工講座	//	9	25
ペーパーカッティング講座	切絵たかし	1	6
タイルクラフト作り	佐藤智美	2	12
科学おもちゃ教室	佐藤泰伸	4	97
デザイン工作	高橋美佳	4	41
消しゴムはんこ作り	高橋理佳	1	12
キャンドル作り	naonao キャンドル	2	11
フラージュでばら作り	中村敦子	2	17
クレイクラフト	村上恵美	3	26
親子陶芸教室	花崎薪伍	8	153
ステンドグラス講座	馬場榮美	7	70
アロマ、カラー講座	林内亜実	10	106
ばらグッズ作り	ばらグッズ`ふくやま`グッズ`	8	70
DIY講座	ヒサオカユウ	9	90
フラワーアレンジ`飾り`作り	平櫛佳代	2	24
ガラスアート講座	藤原潤子	7	40
木工教室	榎原正憲	6	53
アロマ講座	黛三枝子	6	50
陶芸講座	三島博	12	193
パッチワーク講座	三宅慶子	12	320
陶人形教室	やましたあきこ	12	161
手作りスプーン作り	山脇隆	7	59
書のメッセージカード`作り`	吉岡恭子	3	26
こどもコマ大戦	(株)キャストム	20	210
計		242	2,633

※午前・午後講座の場合は、講座数を2講座として集計

#### イ 3Dプリンタ講座

今後3Dプリンタの活用機会が増えることを見据えて、企業やプロデザイナーだけでなく、子どもを含めた一般市民も体験できる「入門的講座」を開催した。

講座内容	講師	回数	延参加数
3Dプリンタ講座	NPO 法人ビジネスサポート・Bingo 3Dビジネス研究会	12	142

#### ウ 福山大学等との連携講座

講座内容	講師	開催日	延参加数
ロボカップジュニア	福山大学工学部	5/3・4	400
ダンボールカーの製作	びんごモノづくり村	3/5	38
計			438

#### エ 企業等との連携事業

内容	連携先	開催日	延参加数
クリスマス100種動物ボランティア	木楽会	9/20, 10/4, 11/8, 12/6	42
小黒三郎組み木のワークショップ	木楽会	11/26・27	600
ワザワングランプリ in リム	WAZA-One GP 実行委員会	7/10	150
全日本製造業コマ大戦 子どもコマ大戦	(株)カスタム	7/17	170
計			962

#### オ 交流館主催企画事業

内容	開催日	延参加数
GW企画 端材工作	5/3～5	150

#### カ 「夏休みものづくりフェスタ」の開催

福山市ものづくり交流館登録のものづくり講師による、楽しさあふれる体験イベントを夏休み期間に開催し、多くの子どもものづくりへの興味と関心を高めた。

- (ア) 開催日 2016年(平成28年)8月6日(土)・7日(日)
- (イ) 場所 市民ギャラリーA・B, 工房, 工作機械室, 講義室, セミナールームA・B・C, 市民交流ひろば
- (ウ) 講師数 29人(団体)
- (エ) 来場者 6,000人

#### (4) ものづくりギャラリーの展示運営

ものづくりギャラリーには常設展示と企画展示のコーナーがあり、伝統のものづくり産業と市を代表する先端のものづくり産業を展示紹介し、当地域のものづくりの周知と啓発を図った。

ア 常設展示 福山琴, 備後畳表, 松永下駄, 備後緋, 鞆保命酒

イ 企画展示 三菱電機（株）福山製作所、カイハラ（株）、（株）カスタム、タカオ（株）

(5) 福山市にゆかりのある工業デザイナー「榮久庵憲司」の作品展示  
榮久庵憲司さんのデザイン実績と福山市とのゆかりなどを紹介する展示コーナーを設け、見学者にもものづくりとデザインへの興味を深めていただいた。

(6) 会場の使用許可

福山市ものづくり交流館への集客とリムふくやま全体の賑わいを創出することを目的とし、市民ギャラリー、セミナールーム、ミーティングルーム、スタジオ（9階）の使用許可を行った。

(7) インキュベーションルームの入居

福山市内で新たに創業をしようとするものを支援するためのインキュベーションルーム4室があり、そのうち3室の入居者が業務拡大のため退出した。このため1室の入居許可を行い、残り2室については入居募集をしている。

(8) 交流館の周知、利用促進

ア 特別企画

(ア) ダンスステージ

交流館利用のダンスグループの発表の場として、じばさんフェア2016併催行事「ダンスステージ」を開催した。

開催日 2016年（平成28年）11月19日（土）・20日（日）

場 所 リム9階 屋上会場

出演者 9団体 96人

(イ) エフピコRiM クリスマスコンサート

開催日 2016年（平成28年）12月17日（土）

場 所 スタジオA

参加者 143人

〔共催：（公財）ふくやま芸術文化振興財団〕

イ 市やエフピコRiM内の公共施設、テナント等との連携による春休みウィーク・クリスマス等のイベント開催

ウ リーフレットの配布

エ 福山市広報、ホームページ、フェイスブック、新聞、ラジオ等による情報発信

## 2 福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz 事業

福山ビジネスサポートセンターFuku-Biz は、f-Biz（静岡県富士市）・OKa-Biz（愛知県岡崎市）をモデルとした、経営相談を主とした福山市の産業支援拠点で、2016年（平成28年）4月より当センターが事業を受託し、12月6日（火）にオープンし業務を開始した。

(1) 職員体制

個別相談等に円滑に対応し効果があがるよう、次の4人のほか事務職員1人の職員体制で業務を遂行している。

ア センター長

職務は個別相談、センターの運営等に関する事で、公募応募者95人の中から、高村 亨を2016年（平成28年）9月1日（木）に採用した。

イ プロジェクトマネージャー

職務は個別相談、センター長の補佐等に関する事で、公募応募者144人の中から、池内精彦を2017年（平成29年）1月4日（水）に採用した。

ウ ディレクター

職務は個別相談の調整サポート、センター事業の啓発等に関する事で、公募応募者20人の中から、2016年（平成28年）11月1日（水）に、2人を採用した。

(2) 個別相談

個別相談は、センター長及びプロジェクトマネージャーがf-Biz等で研修を受けた後に対応することとしており、Fuku-Biz オープン翌日の2016年（平成28年）12月7日（水）からセンター長が行い、2017年（平成29年）4月からはプロジェクトマネージャーを加えた2人体制で行うこととしている。

(3) 相談状況

- ア 相談件数 367件（うち新規185件、リピート182件）
- イ 相談地域 福山市（325件）、府中市（22件）、尾道市（12件）、三原市（1件）、神石高原町（2件）、笠岡市（4件）、井原市（1件）
- ウ 相談内容
- ・売上増加のためのネーミングとキャッチコピー
  - ・売上増加のための新商品開発と新分野進出
  - ・販路拡大のための企画提案方法
  - ・資格を活用した今後の活動の方向性
  - ・自社技術を活用した新商品開発
  - ・開発商品の提案方法

(4) 講演会

- ア 開催日 2016年（平成28年）5月13日（金）
- イ 場 所 福山市ものづくり交流館 スタジオA
- ウ 演 題 「地方創成のためにFuku-Bizに期待される役割」
- エ 講演者 富士市産業支援センター長 小出 宗昭
- オ 参加者 62人

(5) 開設記念セレモニー及びシンポジウム

ア 開設記念セレモニー

- (ア) 開催日 2016年（平成28年）12月6日（火）
- (イ) 場 所 福山ビジネスサポートセンター
- (ウ) 内 容 テープカット及びオープニングセレモニー
- (エ) 参加者 70人

イ シンポジウム

- (ア) 開催日 2016年(平成28年)12月6日(火)
- (イ) 場所 福山市ものづくり交流館 スタジオA
- (ウ) 内容
- ・講演会
    - 演題 「f-Bizモデルによる地方創成の未来」
    - 講師 富士市産業支援センター長 小出 宗昭
    - 岡崎ビジネスサポートセンター長 秋元 祥二
  - ・パネルディスカッション
    - 演題 「f-Bizモデルの全国伝播とFuku-Bizへの期待」
    - パネリスト
      - 富士市産業支援センター長 小出 宗昭
      - 岡崎ビジネスサポートセンター長 秋元 祥二
      - 福山ビジネスサポートセンター長 高村 亨
- (エ) 参加者 250人

(6) セミナー

- ア 開催日 2017年(平成29年)3月25日(土)
- イ 場所 福山市男女共同参画センター イコールふくやま
- ウ 演題 「第1弾 創業塾」  
「儲けたい」より「届けたい」～だっこひものトップブランド北極しろくま堂に学ぶ起業成功の秘訣～
- エ 講師 北極しろくま堂(有) 代表取締役 園田 正世
- オ 参加者 70名

3 人材養成事業

びんご産学官人材育成等ネットワーク事業(福山市からの受託事業)

福山地域における大学や産業支援機関等による垣根を越えた人材育成ネットワークを構築し、企業が求める人材育成事業を実施するとともに、産学官の交流の場を設け、企業の新技術開発等を促進した。

(1) 繊維研修会

- ア 開催日 2016年(平成28年)9月5日(月)
- イ 場所 広島県アパレル工業組合
- ウ 演題 「繊維基礎講座」
- エ 講師 一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)
- 執行役員 嶋田 幸二郎
  - 評議員 相馬 成男
  - 評議員 米田 圭子
- オ 参加者 55人
- [共催: 広島県アパレル工業組合]

(2) 繊維研修会

- ア 開催日 2016年(平成28年)9月15日(木)

イ 場 所 広島県アパレル工業組合  
ウ 演 題 「ファッション・カラーセミナー」  
エ 講 師 ファッションディレクター 中村 芳道  
オ 参加者 22人  
〔共催：広島県アパレル工業組合〕

(3) 製造業 I O T セミナー

ア 開催日 2016年(平成28年)11月11日(金)  
イ 場 所 府中商工会議所  
ウ 演 題 「I O T と中小企業のものづくりに及ぼす影響」  
エ 講 師 (株) アイリンク 代表取締役 照井 清一  
オ 参加者 40人  
〔共催：府中商工会議所〕

(4) 汎用旋盤技術特別技能講習

ア 開催日 2016年(平成28年)11月30日(水)～12月2日(金)  
イ 場 所 広島県立福山高等技術専門校  
ウ 内 容 「汎用旋盤技術特別技能講習」の受講支援  
エ 参加者 8人  
〔共催：広島県東部機械金属工業(協)〕

(5) ものづくりマインド向上セミナー

ア 開催日 2016年(平成28年)12月1日(木)  
イ 場 所 福山市ものづくり交流館 セミナールームA  
ウ 演 題 「新規事業開発成功の法則を学ぶ！  
～魔法のイノベーションノート～」  
エ 講 師 (株)NTTスマイルエナジー 猪原 祥博  
オ 参加者 70人

(6) 精密測定技術特別技能講習

ア 開催日 2017年(平成29年)2月3日(金)・4日(土)  
イ 場 所 広島県立福山高等技術専門校  
ウ 内 容 「精密測定技術特別技能講習」の受講支援  
エ 参加者 8人  
〔共催：広島県東部機械金属工業(協)〕

(7) A u t o C A D 講習

ア 開催日 2017年(平成29年)2月8日(水)・9日(木)・13日(月)・  
14日(火)

イ 場 所 広島県立福山高等技術専門校  
ウ 内 容 「A u t o C A D 講習」の受講支援  
エ 参加者 7人



[共催：広島県東部機械金属工業(協)]

(8) 企業視察研修

- ア 開催日 2017年(平成29年)3月22日(水)
- イ 視察先 ㈱井関松山製造所及び㈱ブルーム・クラシック愛媛テクノ工場
- ウ 参加者 29人

[共催：広島県東部機械金属工業(協)]

(9) 福山市産業支援コーディネーターによる企業訪問

福山市産業界との連携を図るため、市の産業支援施策のPR及び産学官連携人材育成事業における企業ニーズ調査の一環として、福山市産業支援コーディネーターによる企業訪問を実施した。

訪問企業数 22社

4 地場産品PR事業

備後地域の地場産品及び新作商品等を一堂に展示し、消費者の認識を深めるとともに、生産者と関係業界及び異業種や消費者とが直接ふれあう場を提供することで、産地製品の一層の普及拡大に努めた。

(1) 「じばさんフェア2016—地場産業とデザインを楽しむ—」の開催

- ア 開催日 2016年(平成28年)11月19日(土)・20日(日)
- イ 場所 福山市ものづくり交流館
- ウ 出展者 71社・団体
- エ 来場者 4,500人

(2) 「備後ふくやま伝統産業展」・「ものづくり研究開発成果展」

- ア 開催日 2017年(平成29年)1月28日(土)・29日(日)
- イ 場所 福山市ものづくり交流館
- ウ 出展者
  - ・「備後ふくやま伝統産業展」  
福山邦楽器製造業(協)・広島県はきもの(協)・  
広島県菌業協会・合名会社カスリラ・鞆保命酒(協)
  - ・「ものづくり研究開発成果展」  
福山市等産業支援機関が研究開発を支援している6社
- エ 来場者 2,800人
- オ 同時開催 「ものづくり COLLECTION with WARABI」  
[共催：備後ふくやま伝統産業展実行委員会]

5 情報事業

ホームページやメール配信等を通じて、会員・組合宛に各種情報提供を行った。

6 産業活性化推進事業

専門家や大学の研究者の支援を得て、地域内企業との意見交換、情報交換、技術交換の場の設定、さらには産学官による企業の基盤技術の強化や新製品の研究開発にも取り組み、地域産業の活性化を推進した。(福山市産業支援コーディネーター派遣事業、

ビジネス交流会：福山未来，福山物産協会等)

(1) 福山市産業支援コーディネーター派遣事業

福山市と連携して，福山市産業支援コーディネーターを企業に派遣し，新商品開発からマーケティング技術や経営課題・現場改善・省エネ診断など総合的なアドバイスをを行った。

(2) 「ビジネス交流会：福山未来」(産官学)支援事業

福山大学生命工学部・工学部と連携し，バイオサイエンス及びモノづくりに関する産官学の意見交換・情報交換を行い，備後地域の産業創出，新製品開発などを推進した。

ア 公開授業・実験(備後地域地場産業振興センター，福山大学)

- (ア) 6月4日(土) ・「女子プロ野球選手における栄養指導の実例」  
・「健康運動について」
- (イ) 6月25日(土) ・「遺伝子からみた哺乳類の真実」  
・「微生物と病気」  
・「スマートシステムで変わる!?私たちの暮らし」
- (ウ) 7月23日(土) ・「酵母と遊ぼう!」  
・「野菜や果物の味を調べてみよう!」  
・「食品の色を見てみよう!」  
・「アイスクリームを作ってみよう!」  
・「かわいい!水中の小動物の世界!」  
・「海藻で押し葉をつくろう!」

イ 2016年度福山大学研究成果発表会(福山大学社会連携センターと共催)

- (ア) 開催日 2016年(平成28年)6月29日(水)
- (イ) 場所 福山市ものづくり交流館
- (ウ) テーマ 産学連携の接点はここにあり!!一人のネットワークから造る道一

(3) 福山物産協会支援事業

福山物産協会の事務局として，福山市等と連携して「福山ばら祭2016」，「ひろしま夢プラザ」，広島ブランドショップ「TAU」での「福山観光物産フェア」などへ事業者の出展を支援した。

7 中小企業勤労者福祉共済事業

中小企業の勤労者に対し総合的な福祉事業を行い，勤労者の福祉の向上を図るとともに中小企業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に次の事業を実施した。

(1) 生活安定事業

慶弔共済保険金給付

給付の種類		件数
	結婚祝	32

祝 金	出産祝	46
	小・中学校入学（会員の子）	149
	還暦祝	47
	勤続10年	60
	勤続15年	61
	勤続20年	51
	勤続25年	59
	勤続30年	25
傷病休業保険金		43
重度障害保険金		1
死亡保険金		100
合 計		674

(2) 余暇活動事業

ア ツアー・イベント企画

・バスツアー「岩国航空ショー」(5/5) 参加者：8人

・バスツアー「広島東洋カープ観戦」(7/30) 参加者：44人

イ チケット等斡旋

食事券，図書カード，映画観賞券等

チケットの種類：34種類 斡旋枚数：6,650枚

ウ 宿泊施設の利用助成〔会員年度1泊3,000円〕

助成件数：707件

エ レジャー施設・宿泊施設の周知

割引料金で利用できる全福センター提携のレジャー施設・ホテル等の周知

(3) 健康維持増進事業

ア 健康診断等の受診助成〔会員年度1回2,500円〕

助成件数：1,125件

イ 家庭常備薬の斡旋

利用者数：76事業所 193人

(4) 自己啓発事業

ア 生涯学習援助

ユーキャン通信講座の割引料金での受講を斡旋

イ 文化教養活動援助促進

・福山市ものづくり交流館工房講座の参加費助成 助成者：22人

・パティシエのデザート教室(10/25, 11/28, 2/24) 参加者：29人

・ベーカリーの料理教室(3/30) 参加者：3人

(5) 老後生活安定事業

ア 中小企業退職金共済制度の普及推進

中小企業退職金共済制度のPRに努め，制度の普及を図った。

イ 小規模企業共済制度の普及推進

個人事業主、会社役員などの退職金制度のPRに努め、制度の普及を図った。

(6) 共済情報事業

インターネットホームページの充実

ホームページの充実を図り、各種帳票の取り出しやイベント・チケット等の申込みがホームページ上で出来るなど、利便性の向上に努めた。

(7) 加入促進事業

ア 共済会ニュースの発行

会員に対し共済会の活動状況の報告やイベントの案内などのため「ふくふく共済ニュース」を発行した。

年間4回発行（各3, 100部）

イ 1会員1事業所紹介活動

会員による紹介会員加入数：5人

(8) 利用契約施設事業

スポーツ施設斡旋

斡旋施設：スポーツクラブルネサンス福山春日・多治米

延利用者数：473人

8 施設運営事業

地場産業振興と地域産業活性化のため貸館などを行い、円滑な管理運営に努めた。

(1) 貸館運営

ア 年間利用件数 1, 048件

イ 年間利用人数 43, 151人

年間使用状況 18, 621, 640円

(2) 常設展示場・物産館運営

ア 常設展示場 出展企業 11社

イ 物産館 出展企業 8社

年間販売状況 100, 150円

(3) 施設改修

ア センター3階小・中会議室の床・壁のリニューアル

イ センター4階教養室の畳表張り替え

貸借対照表  
平成29年 3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	443,344	333,665	109,679
普通預金	62,550,264	56,314,184	6,236,080
未収入金	1,508,330	1,307,935	200,395
流動資産合計	64,501,938	57,955,784	6,546,154
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	62,572,170	62,572,170	0
建物	203,546,798	224,170,481	△ 20,623,683
投資有価証券	0	14,840,359	△ 14,840,359
定期預金	14,840,000	0	14,840,000
基本財産合計	280,958,968	301,583,010	△ 20,624,042
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	6,040,498	5,377,418	663,080
施設整備等引当資産	2,100,000	600,000	1,500,000
特定資産合計	8,140,498	5,977,418	2,163,080
(3) その他固定資産			
建物附属設備	7,132,233	8,614,819	△ 1,482,586
構築物	112,263	141,388	△ 29,125
什器備品	520,404	798,287	△ 277,883
少額減価償却資産	111,806	170,139	△ 58,333
出資金	600,000	600,000	0
その他固定資産合計	8,476,706	10,324,633	△ 1,847,927
固定資産合計	297,576,172	317,885,061	△ 20,308,889
資産合計	362,078,110	375,840,845	△ 13,762,735
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
買掛金	0	43,300	△ 43,300
未払金	5,291,170	1,655,856	3,635,314
前受金	255,050	673,110	△ 418,060
預り金	1,596,634	545,989	1,050,645
仮受金	0	1,300	△ 1,300
流動負債合計	7,142,854	2,919,555	4,223,299
2. 固定負債			
退職給付引当金	6,040,498	5,377,418	663,080
施設整備等引当金	2,100,000	600,000	1,500,000
固定負債合計	8,140,498	5,977,418	2,163,080
負債合計	15,283,352	8,896,973	6,386,379
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	118,271,601	128,751,454	△ 10,479,853
投資有価証券	0	359	△ 359
指定正味財産合計	118,271,601	128,751,813	△ 10,480,212
(うち基本財産への充当額)	(118,271,593)	(128,751,805)	(△ 10,480,212)
(うち特定資産への充当額)			
2. 一般正味財産	228,523,157	238,192,059	△ 9,668,902
(うち基本財産への充当額)	(162,687,375)	(172,831,205)	(△ 10,143,830)
(うち特定資産への充当額)			
正味財産合計	346,794,758	366,943,872	△ 20,149,114
負債及び正味財産合計	362,078,110	375,840,845	△ 13,762,735

正味財産増減計算書  
平成28年 4月 1日から平成29年 3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	3,364	8,654	△ 5,290
基本財産運用益計	3,364	8,654	△ 5,290
受取会費			
受取会費	25,393,600	25,675,200	△ 281,600
受取会費計	25,393,600	25,675,200	△ 281,600
事業収益			
事業収益	17,348,875	16,258,710	1,090,165
販売事業収益	16,847	26,668	△ 9,821
使用料収益	18,621,640	19,512,230	△ 890,590
事業収益計	35,987,362	35,797,608	189,754
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金振替額	10,479,853	11,541,688	△ 1,061,835
受取民間補助金	100,000	0	100,000
市補助金	31,287,000	31,594,000	△ 307,000
市受託収入	43,414,138	1,099,440	42,314,698
市指定管理料収入	31,601,361	33,947,773	△ 2,346,412
受取補助金等計	116,882,352	78,182,901	38,699,451
受取負担金			
受取負担金	686,000	1,670,395	△ 984,395
受取負担金計	686,000	1,670,395	△ 984,395
一般管理費収入			
一般管理費収入	4,462,548	0	4,462,548
一般管理費収入計	4,462,548	0	4,462,548
受取給付金			
受取給付金	7,450,000	7,535,000	△ 85,000
受取給付金計	7,450,000	7,535,000	△ 85,000
雑収益			
雑収益	1,843,135	827,820	1,015,315
雑収益計	1,843,135	827,820	1,015,315
経常収益計	192,708,361	149,697,578	43,010,783
(2) 経常費用			
事業費			
給料手当	57,581,077	37,097,428	20,483,649
臨時雇賃金	151,632	127,008	24,624
退職給付費用	1,258,603	1,247,628	10,975
福利厚生費	8,703,008	6,619,749	2,083,259
旅費交通費	3,392,650	1,200,160	2,192,490
通信運搬費	2,780,950	2,404,435	376,515
建物減価償却費	20,962,218	23,253,094	△ 2,290,876
什器備品減価償却費	336,076	405,384	△ 69,308
什器備品費	2,592,196	1,094,002	1,498,194
消耗品費	4,285,035	3,035,064	1,249,971
修繕費	928,902	2,649,838	△ 1,720,936
印刷製本費	1,456,382	1,484,073	△ 27,691
燃料費	67,825	86,060	△ 18,235
光熱水料費	3,700,878	3,768,440	△ 67,562
賃借料	2,712,798	2,484,418	228,380
保険料	522,641	773,071	△ 250,430
諸謝金	6,068,670	3,704,248	2,364,422
租税公課	5,940,820	5,929,106	11,714
支払負担金	390,487	255,452	135,035
支払助成金	4,936,000	4,997,500	△ 61,500
委託費	18,326,561	7,589,952	10,736,609
会議費	256,350	387,611	△ 131,261
資料購入費	411,316	67,196	344,120
広告宣伝費	1,920,272	1,618,564	301,708
諸会費	45,000	45,000	0

手数料	1,040,408	641,031	399,377
会場整備費	1,396,148	529,713	866,435
会場借上料	0	746,574	△ 746,574
土地借上料	1,016,918	1,022,283	△ 5,365
イベント開催費	35,992	156,420	△ 120,428
報償費	5,000	1,000	4,000
主催事業費	241,000	114,360	126,640
利用補助費	21,617,999	21,027,488	590,511
施設幹旋費	194,400	194,400	0
支払給付金	7,450,000	7,535,000	△ 85,000
共済掛金	9,374,215	9,455,635	△ 81,420
一般管理費	4,462,548	2,232,041	2,230,507
雑費	30,000	0	30,000
事業費計	196,592,975	155,980,426	40,612,549
管理費			
給料手当	2,044,522	1,561,172	483,350
退職給付費用	124,477	123,392	1,085
福利厚生費	303,127	362,198	△ 59,071
建物減価償却費	1,173,176	1,301,387	△ 128,211
修繕費	40,102	115,711	△ 75,609
光熱水料費	201,322	208,004	△ 6,682
保険料	17,529	17,529	0
租税公課	150,830	149,844	986
委託費	172,150	171,533	617
土地借上料	56,913	57,213	△ 300
雑費	0	30,800	△ 30,800
管理費計	4,284,148	4,098,783	185,365
経常費用計	200,877,123	160,079,209	40,797,914
当期経常増減額	△ 8,168,762	△ 10,381,631	2,212,869
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産売却損			
固定資産除却損	140	0	140
固定資産売却損計	140	0	140
その他の経常外費用			
施設整備等引当金繰入額	1,500,000	600,000	900,000
その他の経常外費用計	1,500,000	600,000	900,000
経常外費用計	1,500,140	600,000	900,140
当期経常外増減額	△ 1,500,140	△ 600,000	△ 900,140
当期一般正味財産増減額	△ 9,668,902	△ 10,981,631	1,312,729
一般正味財産期首残高	238,192,059	249,173,690	△ 10,981,631
一般正味財産期末残高	228,523,157	238,192,059	△ 9,668,902
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
投資有価証券受取利息	△ 359	359	△ 718
基本財産運用益計	△ 359	359	△ 718
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	10,479,853	11,541,688	△ 1,061,835
当期指定正味財産増減額	△ 10,480,212	△ 11,541,329	1,061,117
指定正味財産期首残高	128,751,813	140,293,142	△ 11,541,329
指定正味財産期末残高	118,271,601	128,751,813	△ 10,480,212
III 正味財産期末残高	346,794,758	366,943,872	△ 20,149,114